

日本学術会議 基礎医学委員会 IUPHAR 分科会(第26期・第3回)

議事録

開催日時: 2025年12月23日(火)13:00~14:00

開催場所: オンライン会議

出席者: 古屋敷智之(委員長)、小泉修一(副委員長)、村松里衣子(幹事)、黒川洵子(幹事)、
金井好克、赤羽悟美、安西尚彦、池谷裕二、新田淳美、西谷友重、萩原正敏、
三澤日出巳、南雅文

欠席者: 今井由美子、上田泰己、日比野浩(以上敬称略)

議事:

1. 前回分科会の議事録(確認)

前回議事録(第26期・第2回)の内容を確認した。国際活動における人的交流の重要性が改めて共有された。

2. 日本学術会議の現状(報告)

2026年10月以降の日本学術会議の法人化に向けた検討状況について、公開情報に基づき報告があった。今後、組織体制やアクションプランを策定するための準備委員会が設置される予定である。

3. IUPHAR 等の国際活動に係る最近の動向・活動(報告)

IUPHAR理事会および各セクションの活動状況について報告があった。

- ✓ **国際委員の推薦:** IUPHARの各専門部会に対し、日本から2名の委員を推薦した。
- ✓ **国際会議の招致:** WCP2034誘致について、諸条件を検討し立候補を行わないこととした。
- ✓ **アジア地域連携:** APFP(アジア太平洋薬理学連盟)を通じ、中国や韓国に加え、台湾やタイなど多様なアジア諸国の薬理学会等との連携を強化する方針が示された。

4. IUPHAR 等の国際活動に係る今後の方策(審議)

国際的なプレゼンス向上のため、以下の具体策について審議された。

- ✓ **ネットワークの活用:** APPW2025(第98回日本薬理学会年会)(2025年3月開催)等で構築された国際ネットワークを、今後のIUPHAR等の国際活動に継続的に活用していく。
- ✓ **次世代の参画支援:** 国際学会の理事・役員等を継続的に輩出するため、若手研究者

の育成と推薦の仕組みを体系化する。

- ✓ **重点分野の推進:** 天然物薬理学等の日本が強みを持つ分野において、国内リソースを活用した国際企画の提案を行う。

5. IUPHAR 分科会の今後の活動(審議)

2026年に予定されている以下の国際会議の準備状況について確認された。

- ✓ 日中臨床薬理学ジョイントミーティング(2026年11月、福井)
- ✓ 第27回日韓薬理学合同セミナー(2026年11月5-6日、静岡)

6. その他

- ✓ 次回分科会の開催: 未定(来年予定)

以上